

2019年2月1日

鹿児島大学病院 眼科を受診された

網膜色素変性症患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院眼科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 「網膜色素変性における網膜・脈絡膜の形状解析」

【研究機関】

鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科学分野

【研究責任者】

鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科学分野

教授 坂本泰二

【研究の目的】

この研究の目的は、網膜色素変性症の患者さんを対象に、眼科的一般検査(視力、眼圧、視野、細隙灯検査、眼底検査)と光干渉断層計(OCT検査)を調査することで病気の重症度や解明に役立てることが期待できます。

【研究の方法】

鹿児島大学眼科外来を受診した網膜色素変性の患者さんの診療録(カルテ)から、視力、眼圧、視野、細隙灯検査、眼底検査、眼底写真、OCT検査の情報を収集します。眼科一般検査の際、瞳孔を広げる目薬を使用します。4時間ほどでまぶしさやかすみを自覚しますが、院内の行動には支障はありません。ただ

し、車やバイクの運転は目薬の効果が切れるまで約 5 時間ではできなくなります。

【対象となる患者さん】

鹿児島大学病院眼科で網膜色素変性症と診断された患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

- ① 臨床診断名、②性別、③年齢、④視力、⑤眼圧、⑥視野、⑦眼底所見、⑧OCT 所見

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学眼科学分野の研究費で実施します。この研究に対する企業等からの資金および労務提供はありませんので、この研究において利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科

教授 坂本泰二

電話 099-275-5400 FAX099-285-4894